－ 日本赤十字看護大学 －

医療と文化

2013/12/27 [1限・2限]

井 上 陽 介

授業のアウトライン

Module 1

健康・病気の捉え方（第2回–5回）

栄養失調・肥満／痛み／
精神疾患・ストレス／出産・授乳

Module 2

治療・健康追求行動のあり方（第6–9回）

経口補液療法／予防接種／外科手術・臓器移植／
呪術・伝統医療／ネット上の医療情報／プラセボ効果

Module 3

健康決定要因としての文化（第10–13回）

感染症（HIV/AIDS、マラリアなど）／心血管疾患・糖尿病
／移民と健康／経済発展と健康

小テストの答え

(1) × (2) ○ (3) × (4) × (5) × (6) × (7) ○ (8) ○

(9) × (10) ○ (11) ○ (12) × (13) ○ (14) × (15) ×

HIV/AIDS

今日の授業の進め方

- HIV/AIDSとはなにか
  - 意味／感染経路
  - 世界における感染／感染拡大に対する取り組み

- ビデオ（１）・（２）

- HIV/AIDSと文化
  - スティグマ
  - HIV/AIDSで使用が避けられる言葉　など

HIV / AIDS とはなにか?

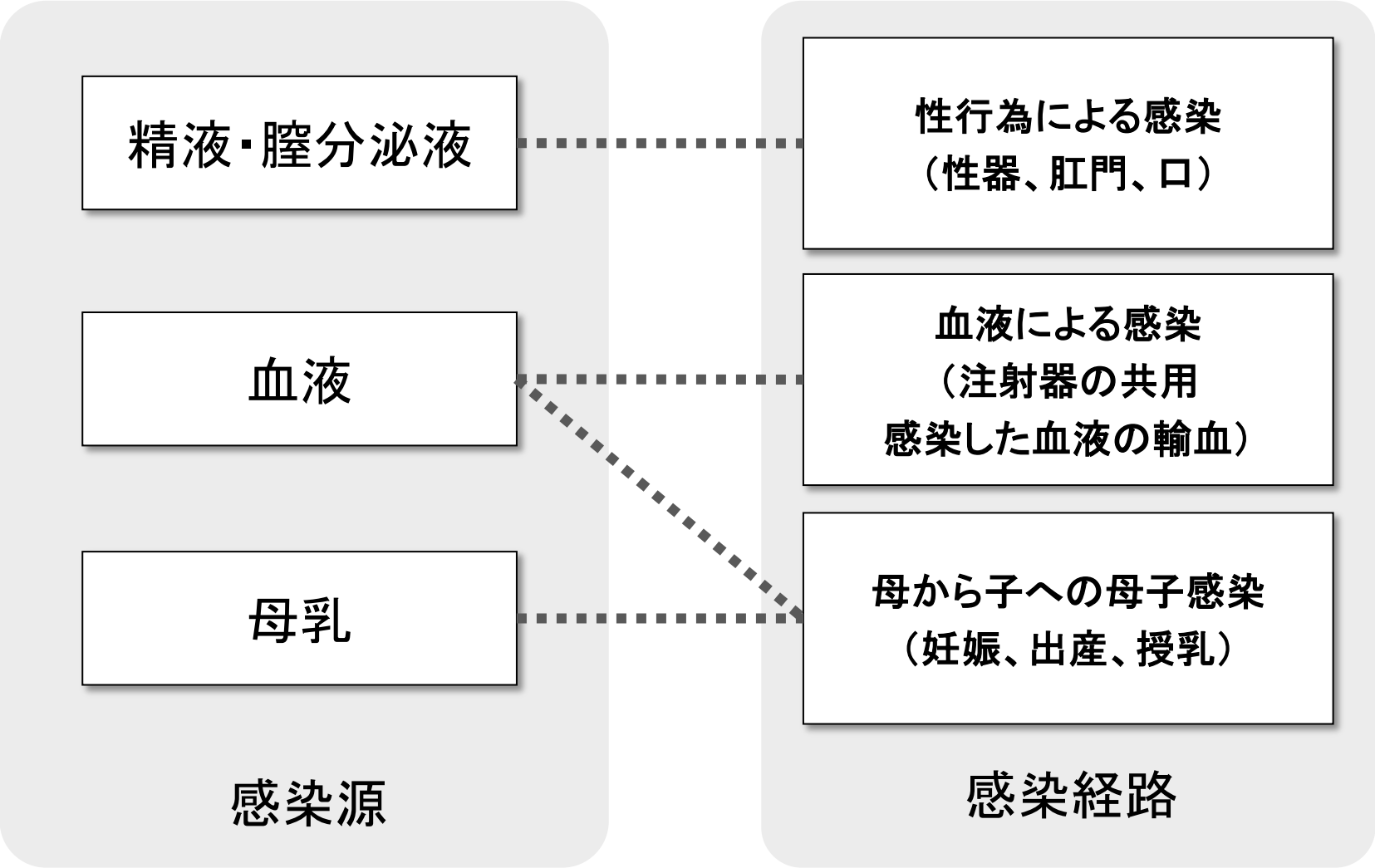
HIV/AIDS

- 言葉について

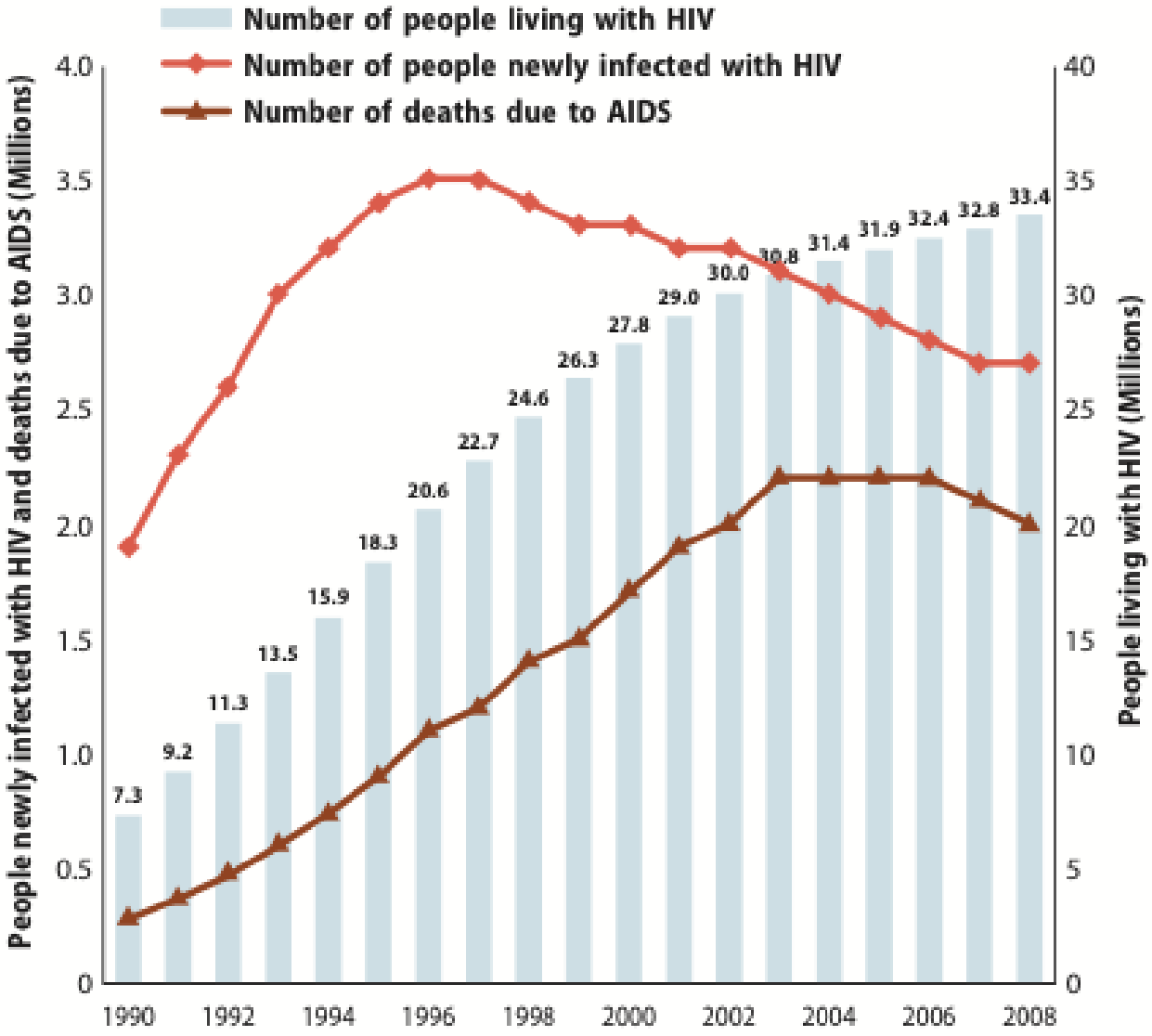
Human	人の
Immunodeficiency	免疫不全
Virus	ウイルス

Acquired	（後天性） 生まれた後の
Immuno-	（免疫） 病気への抵抗性が
Deficiency	（不全） 低くなる
Syndrome	（症候群） 症状の集まり

感染源・感染経路

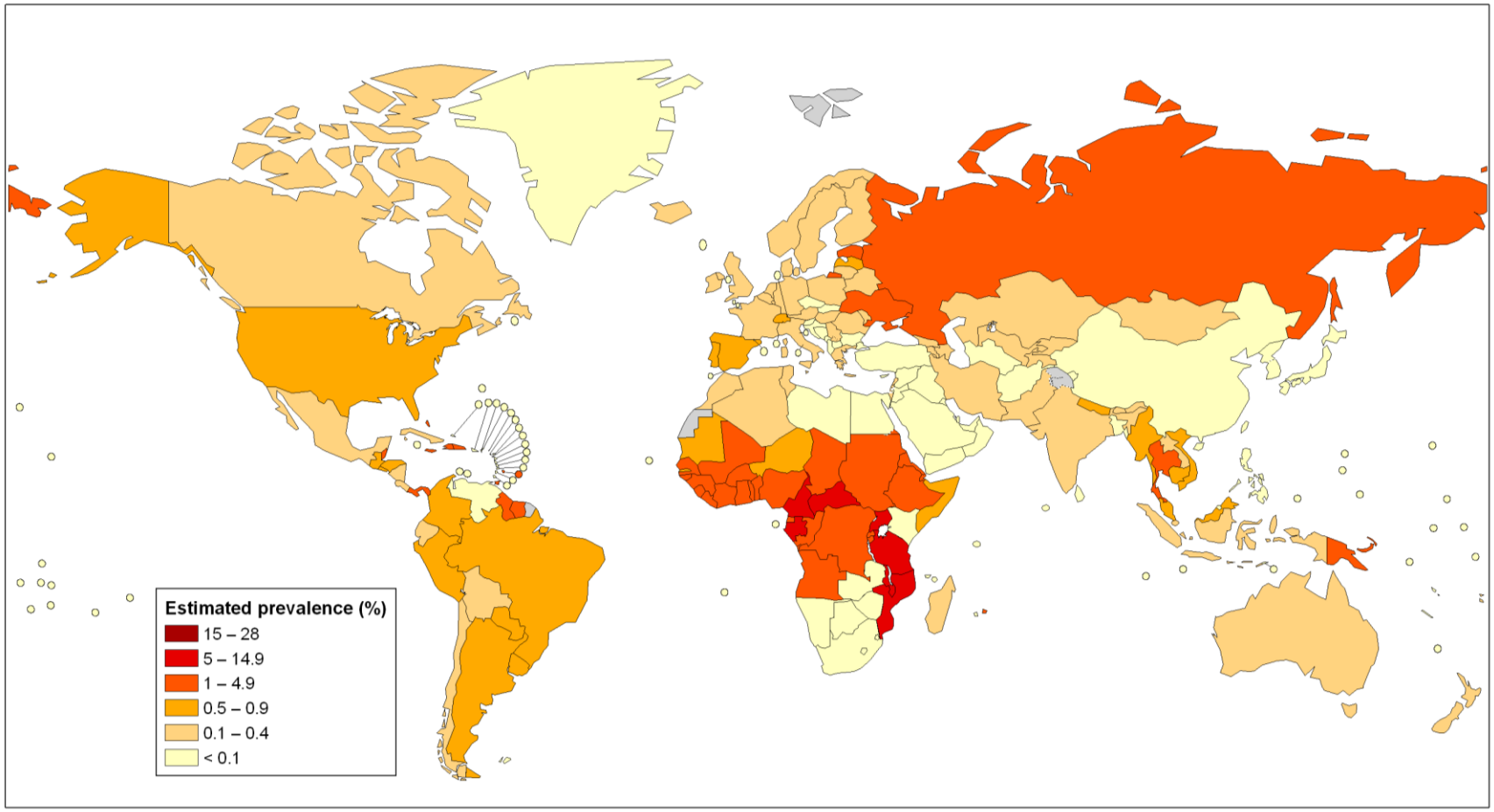

精液・膣分泌液
血液
母乳
感染源
性行為による感染
（性器、肛門、口）
血液による感染
（注射器の共用
感染した血液の輸血）
母から子への母子感染
（妊娠、出産、授乳）
感染経路

HIV感染の拡大（1990-2008年）



HIV感染率（2007年）

HIV estimated prevalence among population aged 15–49 years (%), 2007



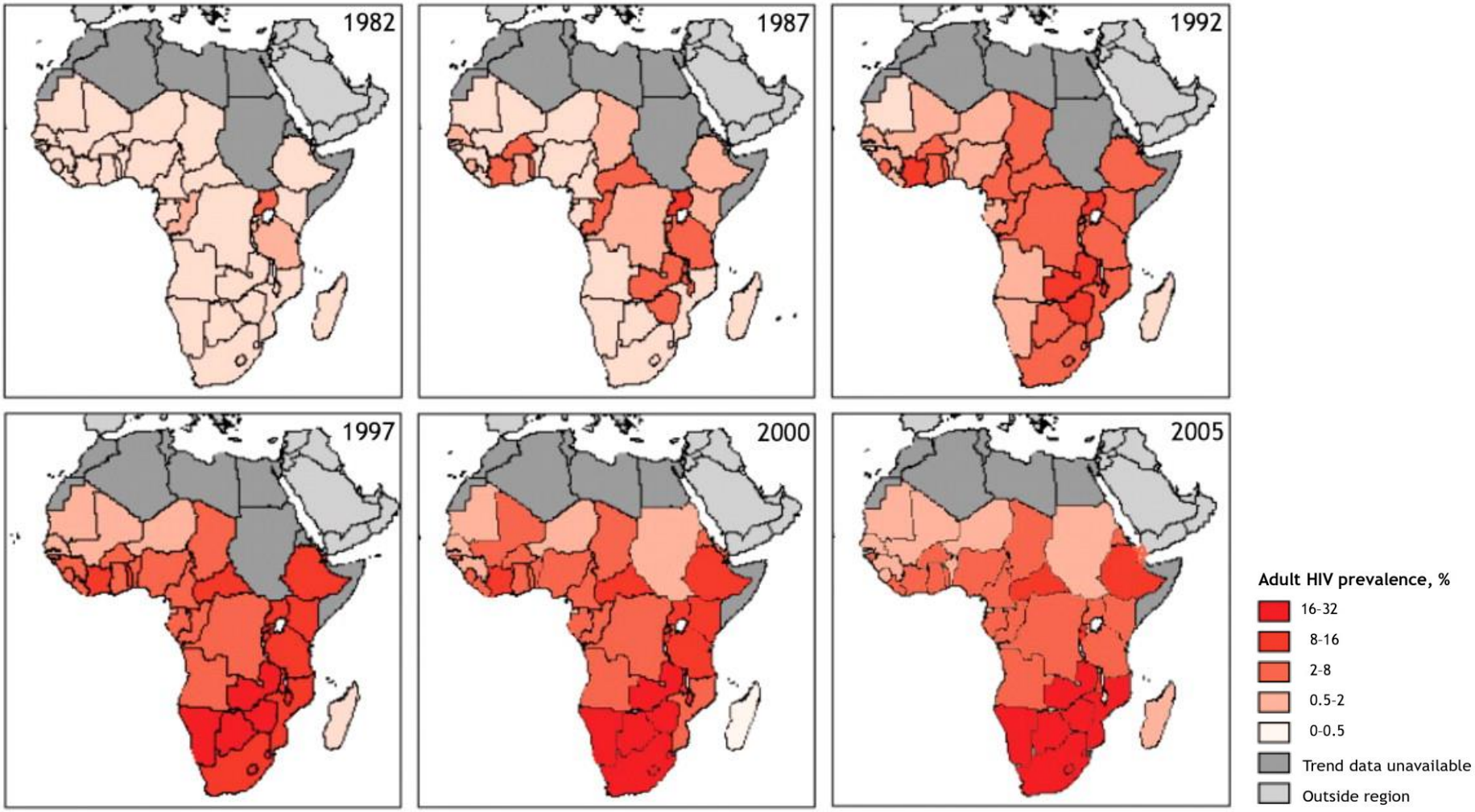
The boundaries and names shown and the designations used on this map do not imply the expression of any opinion whatsoever on the part of the World Health Organization concerning the legal status of any country, territory, city or area or of its authorities, or concerning the delimitation of its frontiers or boundaries. Dotted lines on maps represent approximate border lines for which there may not yet be full agreement.

Data Source: UNAIDS/World Health Organization
Map Production: Public Health Information and Geographic Information Systems (GIS)
World Health Organization

World Health Organization

© WHO 2009. All rights reserved

サブサハラアフリカのHIV/AIDS



http://www.cmaj.ca/content/176/12/1728/F1.large.jpg

HIV Facts

- People living with HIV/AIDS
  - 3530 万人
  - これまでにおよそ 7500万人がHIV に感染。
- HIV新規感染
  - 230万人：2001 年から33%減少。
  - 子どもの新規感染は2001 年以降 52%減少（260000人）。
- エイズ関連死
  - 160万人。2005年は230万人。
  - これまでにおよそ 3600 万人が死亡。

HIV Facts

- 抗 HIV 治療（ART）
  - 2012年には、低・中所得で 970 万人のHIV 陽性者が受療。

- HIVと結核の重複感染
  - HIV 陽性者の結核による死亡は、2004年以降 36%減少。
  - 依然として、HIV 陽性者の主要な死因。

- 資金拠出
  - 2012 年には、189 億米ドル（約 1 兆 8900 億円）。
  - 2015年までに必要な資金は、年間220-240億米ドル。

対策[1]　予防・啓発

- Safer sexの推進
  - 100%コンドームキャンペーン　（タイ）
  - ABCキャンペーン
    - A: Abstain　（禁欲）
    - B: Be faithful　（貞操を守る）
    - C: Use Condom　（コンドーム）

- コミュニティ全体の対応度を上げる。
  - 社会全体でHIV感染者を支える。
  - 病気への理解を深める。

HIV感染確率

• 輸血	90%
• 静脈注射ドラッグ使用時の針の共有	0.67%
• アナルセックス（受け入れ側）	0.5%
• 針刺し事故	0.3%
• 膣を使ったセックス（女性側）	0.1%
• アナルセックス（挿入側）	0.067%
• 膣を使ったセックス（男性側）	0.05%
• フェラチオ(受け入れ側）	0.01% ※
• フェラチオ(挿入側)	0.005% ※

※男性におけるオーラルセックスのケース

http://www.hivkensa.com/whatis/

対策[２] 母子感染予防（垂直感染予防）

母子感染予防

PMTCT: Prevention of Mother to Child transmission of HIV

- HIV感染した女性は、妊娠中・出産時・授乳時において、乳児にHIVを感染させる危険がある。
- 出産後の母乳による感染を防ぐため粉ミルクの支給などをおこなう。
- HIV感染が判明した妊産婦に継続的にARTを行い、母親の治療と胎児への感染を防ぐ方法（MTCT+）もある。
- 2%くらいになる。

母子感染の確率

Timing	Transmission rate
During pregnancy	5–10%
During labour and delivery	10–15%
During breastfeeding	5–20%
Overall without breastfeeding	15–25%
Overall with breastfeeding to six months	20–35%
Overall with breastfeeding to 18–24 months	30–45%

対策[３] 検査

- HIVに感染してからAIDSになるまで約5－10年。
- 早期の段階でHIV感染に気が付けば、適切な治療を早期に始めることが出来、よりよい予後が期待される。

- HIV/AIDSに対するスティグマが強く、強制はできない。
  - VCT: Voluntary Counseling and Testing

- 感染者: 今後についての情報提供
- 非感染者: 予防啓発の場

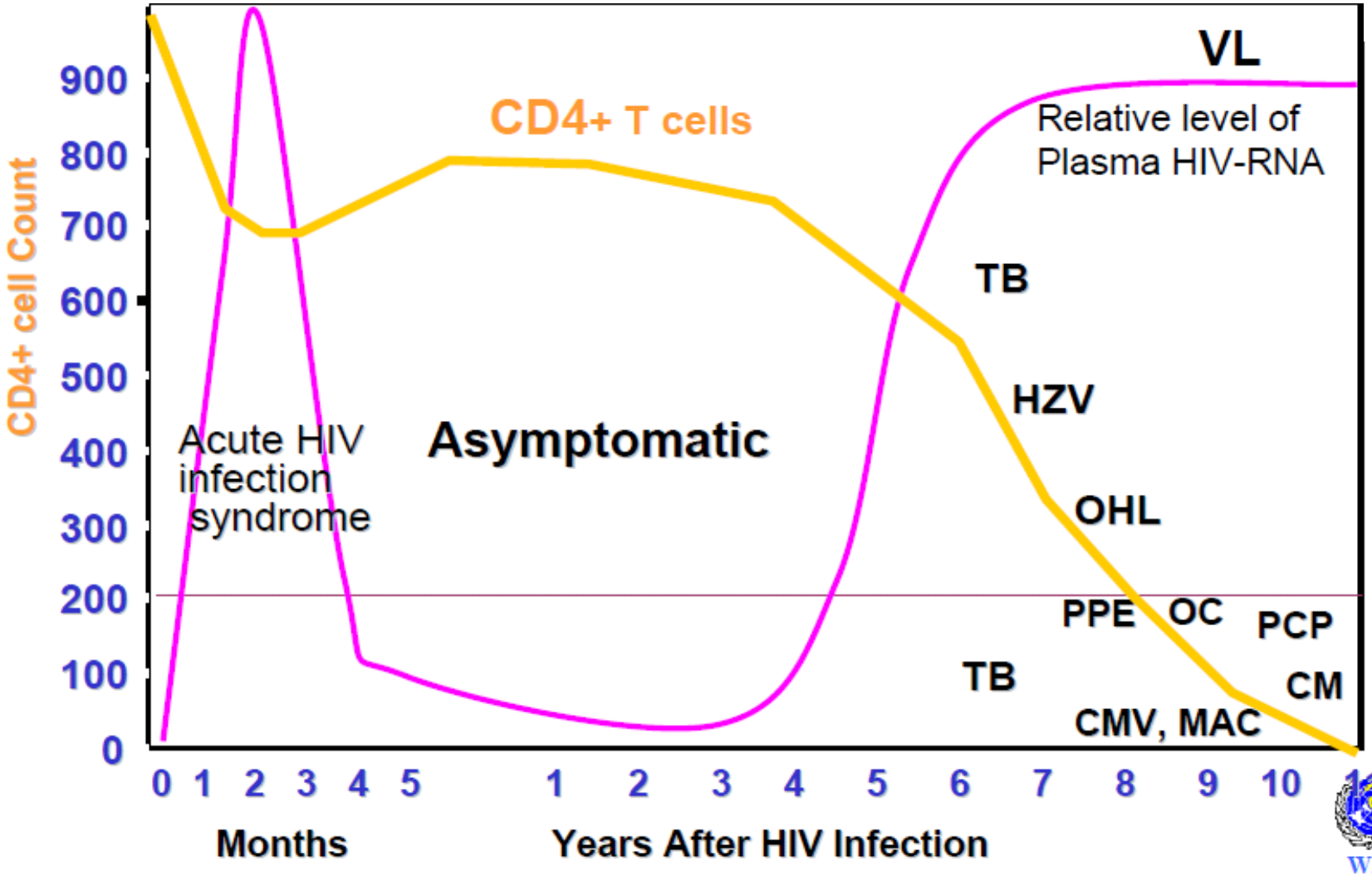
対策[４] Anti-retroviral Therapy

- 抗レトロウイルス剤
  - HAART（Highly Active ART）

- HIVを体から根絶することは、現在入手可能な抗レトロウイルス薬では不可能である。

- 治療の目標：
  - HIVに関連した疾病の罹患と死亡の減少。
  - 生活の質の向上。
  - 免疫機能の回復・維持。
  - 血中ウイルス量の最大限かつ長期間抑制。

HIV感染の経過



WPRO

対策[5]　HIVの社会へのインパクトの低減

- HIV/AIDSに罹患しやすい集団
  - 生産年齢（経済活動）
  - 子どもの養育
  - 世代の再生産

- 働き手の不足→経済への打撃
- 医療費負担
- 孤児：引き取り手への経済的なインパクト

- 差別・偏見の解消

様々な分野の協働が求められている

UNAIDS
JOINT UNITED NATIONS PROGRAMME ON HIV/AIDS

UNHCR
UNICEF
WFP
UNDP
UNFPA
UNODC
ILO
UNESCO
WHO
WORLD BANK

- United Nations High Commissioner for Refugees (UNHCR)
- United Nations Children’s Fund (UNICEF)
- World Food Programme (WFP)
- United Nations Development Programme (UNDP)
- United Nations Population Fund (UNFPA)
- United Nations Office on Drugs and Crime (UNODC)
- International Labour Organization (ILO)
- United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization (UNESCO)
- World Health Organization (WHO)
- World Bank

様々な分野の協働が求められている

- 国際連合難民高等弁務官事務所（UNHCR）
- 国際連合児童基金（UNICEF）／ユニセフ
- 国際連合世界食糧計画（WFP）
- 国際連合開発計画（UNDP）
- 国際連合人口基金（UNFPA）
- 国際連合薬物犯罪事務所（UNODC）
- 国際労働機関（ILO）
- 国際連合教育科学文化機関（UNESCO）／ユネスコ
- 世界保健機関（WHO）
- 世界銀行（WB）

グローバルレベルの対策

- 国連ミレニアム開発目標
  The Millennium Development Goals
- 国際連合HIV/AIDS特別総会
  UN General Assembly Special Session on HIV/AIDS（UNGASS）
- 世界エイズ・結核・マラリア基金（世界基金）
  The Global Fund to Fight AIDS, Tuberculosis and Malaria
- スリー・バイ・ファイブ　イニシアティブ
  3 by 5 Initiative

グローバルレベルの対策（１）

国連ミレニアム開発目標　2000年9月8日

The Millennium Development Goals

- 極度の貧困及び飢餓の撲滅、普遍的初等教育の達成等に関し、具体的数値を挙げて2015年までに国際社会が達成すべき8つの目標を提示
- 目標6「HIV/AIDS、マラリアその他の疾病の蔓延の防止」
  - ターゲット: HIV/AIDSの蔓延を2015年までに阻止し、その後減少させる。
  - ターゲット:マラリア及びその他の主要な疾患の発生を2015年までに阻止し、その後発生率を下げる。

グローバルレベルの対策（２）

国際連合HIV/AIDS特別総会

UN General Assembly Special Session on HIV/AID
（UNGASS）

- 2001年6月に開かれたHIV/AIDSに関する国連特別総会
- 加盟国189ヶ国が『HIV/AIDSに関するコミットメント宣言(Declaration of Commitment on HIV/AIDS)』を採択した。
- 新規HIV感染の予防、保健医療の拡大、およびHIV流行の衝撃的影響の緩和のために、国際社会・地域・国という各々のレベルの対応が取り上げられた。

グローバルレベルの対策（３）

世界エイズ・結核・マラリア基金（世界基金）

The Global Fund to Fight AIDS, Tuberculosis and Malaria

- エイズ・結核・マラリアという世界の3大疾病による社会への被害のインパクト軽減のため2002年に発足
- 持続的で意味のある財政貢献をするために、資金を「迅速」かつ「効果的」に調達し運用・配分することを使命とする世界基金。

グローバルレベルの対策（４）

スリー・バイ・ファイブ　イニシアティブ

3 by 5 Initiative

- 「2005年末までに途上国のHIV/AIDSと共に生きる人のうち300万人に抗HIV薬による治療を提供する」
- HIV/AIDSの治療に手を打つための最初のステップ
- WHO（世界保健機構）がUNAIDS（国連エイズ合同計画）などと共に掲げる計画
- ただちに治療が必要な人は約600万人と推定。2005年度末に治療を受けている人は98万人に留まった。

グローバルレベルの対策（５）

ユニバーサルアクセス　2006年6月

Universal Access

- 3by5の経験を生かし、以下の5つの戦略を駆使してユニバーサルアクセス達成に向けて投資。
  （1）人々がHIVの感染の有無を知ることが出来る。
  （2）HIV予防に保健セクターの最大限の寄与を行う。
  （3）HIV/AIDSの治療とケアの拡大を加速させる。
  （4）保健システムの強化と拡張。
  （5）より効果的な対応を導くための戦略的な情報への投資。

しかし現状は・・・

さまざまな介入が行われているが、
HIV感染増加に歯止めはかかっていない！

国際社会、各国がHIV/AIDS対策への危機感、
主体性、方向性をもって取り組むことが必要！

ビデオ！

ビデオ（１）

- プランジャパン
  - エイズで親を失った少女：前編（ウガンダ）[9:55]
    http://www.youtube.com/watch?v=-9LhuPAWqQI
    エイズで親を失った少女：後編（ウガンダ）[9:56]
    http://www.youtube.com/watch?v=VvoVVkOtyEw

Plan
プラン ジャパン

ビデオ（２）

- ユニセフ
  - HIV/エイズから命を守る地域の保健員 ［3:31］
    http://www.youtube.com/watch?v=ZPUSW27B8X0
  - １日1錠でHIV/エイズから命を守る- オプションB ［4:02］
    http://www.youtube.com/watch?v=AS_nJgL_Z84
  - マラウイ：HIV/エイズのない世代を目指して ［2:41］
    http://www.youtube.com/watch?v=q4qEiVSyIs8

気を付けたい言葉

AIDS virus

AIDS patients

AIDS victims（犠牲者）

AIDS orphan（孤児）

High risk group

AIDS virus

- HIV:ウイルス
- AIDS:後天性免疫不全症候群

- つまり・・・
  - AIDSウイルスという表現はふさわしくない。
  - HIVと言えば済む話。

- では、HIV virusは表現として正しいか?

AIDS patient

- 常に「患者」という立場でだけ、感染者がこの世の中に存在している訳ではない。
- したがって、よりニュートラルな表現を使うべき
  - People living with HIV/AIDS
  - HIV positive
  - AIDS victimも同様に避けるべき。
    - Victim（犠牲者）と呼ぶことは、彼らの主体性を認めていないことに他ならない。

AIDS orphan

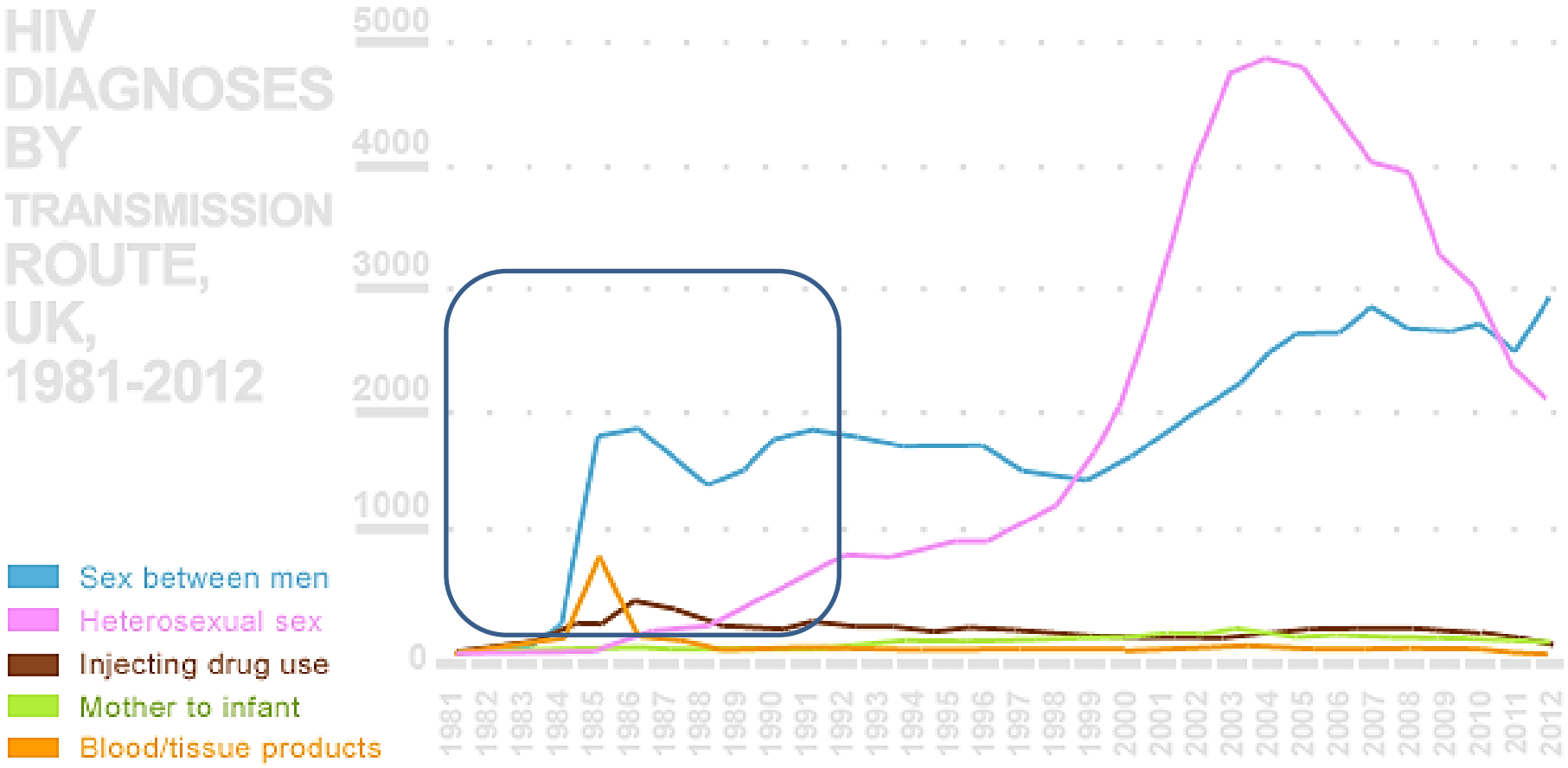
- 避けるべき理由
  - AIDSが原因であろうがなかろうが、Orphan（孤児）であることは変わらないのでわざわざ区別する必要がない。
  - AIDSのOrphanという理解をされ、孤児がHIV感染をしていたり、AIDSを発症しているような印象を与える可能性があるが、必ずしもそうとは限らない。
  - “Children orphaned by AIDS”という表現は使用することもある。

High risk group

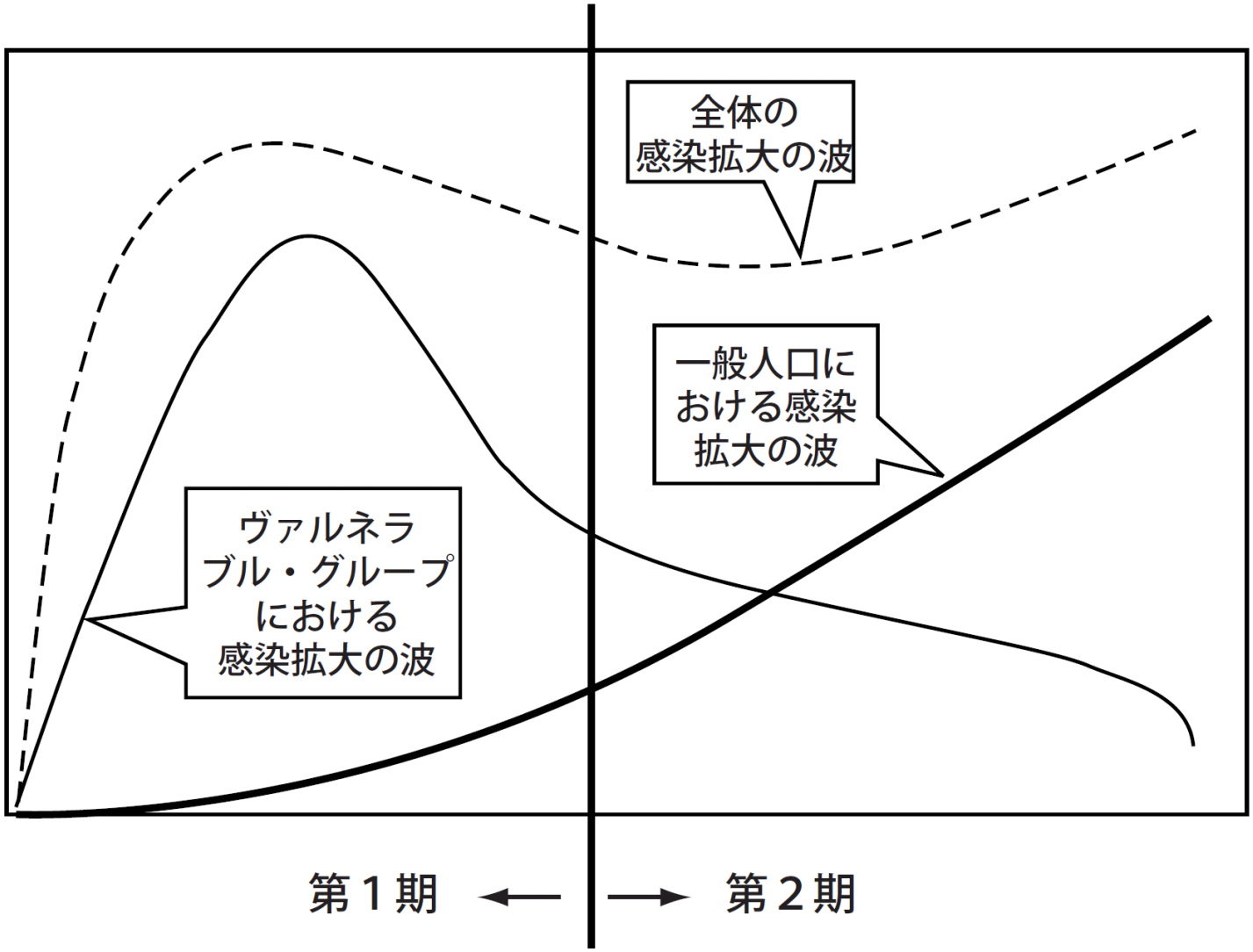
- 高リスクとよんだら、その人たちのスティグマを強化することになる。→ High risk behavior（ハイリスク行動）
  - 同性愛者（e.g. Men who have sex with men：MSM）
  - 長距離ドライバー
  - 軍人
  - 出稼ぎ労働者
  - 売春婦

実際にHIV感染を拡大するのは彼らではなく彼らの行動！

それに、問題は「ハイリスクグループ」だけでなく・・・



疫学的観点からのHIV感染の推移



http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/shimin/oda_ngo/shien/pdfs/03_hoken.pdf

隠喩としての病気

セックスによるこの病気の伝染は、たいていの人が自業自得とみなしていて、他のルートによる場合よりも、厳しい言われ方をする。―とくにエイズが過剰なセックスの病気というにとどまらず、倒錯ゆえの病気と理解されているからである。（断るまでもないだろうが、私は合衆国のことを念頭においている。この国では、目下、異性間のセックスによる伝染は希で、まずあり得ないと言われている―まるでアフリカなど存在しないかのように）。セックスが主要な伝達経路となる伝染病は、どうしても性的に活発な人々をよけいに危険にさらすことになるし、またその活動の罰と見られやすい。このことは梅毒にもあてはまったが、ただたんにでたらめな性ではなくて、自然に背くとされる特定の性の「あり方」がより危険と言われるエイズでは、よけいにそうである。ある種の性のあり方によってこの病気になるのはわがままで、だから余計に非難に値する、と。

スーザン・ソンタグ　『隠喩としての病　エイズとその隠喩』

AIDS as….

- As a plague （疫病）
  - 中世のペストと同じ
  - 混沌、不調和、秩序のある社会、家庭生活、人間関係の崩壊を引き起こす、目に見えない力

- As an invisible contagion （目に見えない感染体）
  - 感染している人とのどんな接触においても感染してしまう。体表や老廃物、呼吸した空気ですら感染してしまう。
  - 感染者の周りには感染したミアズマ、もしくは有毒な「悪い空気」の雲が存在し近くにいる人を病気にさせる。

AIDS as….

- As moral punishment （倫理的な罰）
  - 無罪:
    - 血液製剤で感染した血友病患者／配偶者からの感染
  - 有罪:
    - 同性愛者／薬物使用者／売春婦

- As invader （侵略者）
  - 外国人、移住者、旅行者などに対する不安

AIDS as….

- As war （戦争）
  - 同性愛者、セックスワーカー、移住者、薬物使用者との戦い。
  - 異性間の性行為によって感染したものは「戦闘中の民間人の死傷」

- As a primitive or pre-social force or entity （未開社会の力・存在）
  - 子供じみた快楽

AIDS as….

- こうした比喩・隠喩は危険である。
  - HIV/AIDSのリスクの評価を正しく行うことが出来なくなる。
  - どのように認識して、コントロールして、予防して、そして扱うべきか分からなくなる。
  - HIV/AIDSにかんする健康教育の効果が薄れてしまう。
  - スティグマを強化する（Moral Punishment）

※他の疾病でも隠喩として使われること、特定のイメージをもたれることはよく起こること（e.g. がん、結核）

同性愛者とHIV/AIDS

- ゲイおよびMSM
  - 1980 年代にHIV/AIDS問題が世界に登場して以来、強く関連づけられて存在してきた。
  - HIV/AIDSをめぐる諸活動（アドボカシー、政策提言）の多くをゲイ・アクティヴィズムが担ってきた。

生物学的（Biological Sex）: 男、女
性自認（Gender identity）: トランスジェンダー、性同一性障害
社会的性役割（Gender）: 男らしさ、女らしさ
性的指向（Sexual Orientation）: 異性愛者、同性愛者

LGBTという表現も！

男性とHIV/AIDS

- 生物学的にはHIVに感染する確率は女性の方が高いが、男性のHIV感染の割合が女性よりも多い。
- 男性が作るHIVの感染拡大の多くの要因
  - 「男らしさ」を強調する文化や社会制度
  - 長期間の出稼ぎや長距離輸送など男性の労働形態

  - 「男らしさ」とは？
    - 「より早い段階で」「より多くの女性と」「できるだけ頻繁に」かつ「できるだけ刺激的な」セックスをすることが「男らしい」
    - コンドームを使用しない。

2. 身体の領域についての考え方

10/16授業より

<u>アメリカ中産階級の場合</u>

- Intimate distance 0-45cm:
  - 親密な関係を持つ個人のみが入りうる距離
- Personal distance 45-120cm:
  - 個人的なスペース
- Social distance 1.2-3.6m:
  - ビジネス上など社会的なコミュニケーションが行われる距離
- Public Distance 3.6m-7.5m or more:
  - 社会的、個人的な人との交わりが一切おこらない

http://www.id-sphere.com/2008/09/reducing-the-intrusiveness-of-building-work-in-residential-projects/

薬物使用者とHIV/AIDS

- 薬物使用者の間での爆発的なHIV 感染拡大。
  - （例:タイ） 1984 年に最初のエイズ患者。1987 年後半に薬物使用者の間で感染が始まると、18ヶ月の間に、バンコク市内数千人の薬物使用者の半数あまりに拡大。彼らのセックス･パートナーや子どもを通じて一般人口に広がった。
  - 理由は; 回し打ち。

- ハームリダクション:「被害（harm）を軽減（reduction）」。
  - 薬物使用の是非を問うたり、薬物使用の脱却を目的とするのではなく、HIV感染など薬物使用に伴って起こりうる「被害」に着目し、これを最小限にすることを目的とする。

その他　ビデオ教材（英語）

- Ethiopia: Empowering Youth & Communities Affected by HIV/AIDS [10:09]
  http://www.youtube.com/watch?v=nxpV89Odmm4

- Plight of Myanmar's HIV/AIDS patients exposed [2:31]
  http://www.youtube.com/watch?v=Rmjk6-uHrQI

- A woman with AIDS is filmed everyday for 90 days [1:37]
  http://www.youtube.com/watch?v=IExRHL7D_NI